

このまちで
集う

たくさんのイベントや、交流人口を増やす取り組みを、町民パワーで盛り上げています。

本別町における近年のまちづくりの取り組みを、「集う」「住む」「働く」「育む」の4つのステージで紹介します。

みんながいつまでも安心して暮らせる、支え合いのまち、本別。住む人にやさしい環境づくりを積極的に進めています。

このまちで
住む

多彩なまつり
 魅力を発信

本別町では5月の「本別山溪つつじ祭り」をはじめ、9月の「ほんべつきらめきタウンフェスティバル」など、四季を通じて豊かな自然を生かした多くのイベントが催されます。



ほんべつきらめきタウンフェスティバル
 2日間で約4万人が訪れる本別最大のイベント。平成28年に20周年を迎え、6,000発の花火が秋の夜空を華麗に彩りました。



豆まかナイト
 本別の若者が企画し、「日本一の豆のまち」を全国へ発信！本別産の大豆を全力で鬼に投げつけよう！

いってみたい！

集まる
 町民力

にぎわいをつくり出すのも、そこへ足を運ぶのも、みんなの「地元愛」です。



「若者の輪」「はしご酒」で交流しナイト
 町内に在住または働く多くの若者・グループが交流を通して、まちを元気づけます。



夜でかけナイト
 子どもは縁日、大人は露店で商店街が元気に！各店が工夫を凝らしたワンコイン販売などを展開。

移住を
 応援



おためし暮らしプログラムの紹介のほか、住宅の空室や分譲地の相談など、本別に住むためのお手伝いをします。

すんでみたい！

とちぎ東北移住サポートセンター
 専任アドバイザーが移住希望者へ情報の提供や支援、首都圏へのプロモーション等を行っています。



平成28年3月に本別町空家等対策計画が策定され、福祉の観点から空き家の利活用に向けた取り組みが進められています。

空き家を
 生かす

本別町居住支援協議会
 住宅や空き家の専門家がセミナーや相談会を開催。「貸したい」と「借りたい」をつなぎます。

安心の
 暮らし

「福祉でまちづくり」を進める本別町では、健康長寿のまちづくり条例に基づき、障がい者や高齢者などが安心安全に暮らせるよう、さまざまなサポートをしています。



あんしんサポートセンター
 平成25年3月に開設された、支援を必要とする人の権利を守る組織。サポーター向けの研修もあります。

すみつけたい！

よりよい
 住まい

公営住宅の整備を進め、持ち家住宅の新築や改修に対し助成する制度もあります。



PLUS MEMO
「地域包括ケアシステム」
 「高齢になっても、障がいを負っても、ずっと住み続けられるまちをつくる」。それが本別町の目指す地域包括ケアシステムです。その実現には、医療や介護の専門職・行政はもちろん、住民の皆さんの活動や助け合いといった地域力の結集が大切です。近隣同士がつながり助け合える本別町では高齢者や障がい者だけでなく、子どもや子育て世代にも住みやすいまちです。